

【都筑区】令和6年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和6年6月11日（火）10：00～11：08
場 所	6階大会議室
出席者	<p>【座長】白井亮次 議員</p> <p>【議員：4名】長谷川琢磨 議員、市来栄美子 議員、磯部尚哉 議員、深作祐衣 議員</p> <p>【都筑区：30名】佐々田賢一 区長、落合明正 副区長、増山敬太 災害対策担当部長（都筑消防署長）、中山昭 福祉保健センター長、浦崎真仁 福祉保健センター担当部長、藤井由貴 福祉保健センター医務担当部長、小島淳 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度 都筑区に係る予算のすがたについて 2 令和6年度 都筑区自主企画事業の主な事業と取組について 3 報告案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都筑区制30周年の取組について (2) GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の機運醸成の取組について
発言の旨	<p>【障害者交流啓発事業】—農福連携について—</p> <p>長谷川議員：農福連携について、どう受け止めているか。</p> <p>佐々田区長：農家の方のお話では、担い手不足があるなかでコツコツと粘り強く正確にやってもらえて助かっている。福祉作業所の方のお話では、障害者それぞれの方の特性を生かした作業、活躍をする場を提供できるということで、これからまさに取り組んでいくべき内容だということを感じた。</p> <p>長谷川議員：ぜひ他区、その他中核となる団体などにもアプローチしていただきたい。</p> <p>佐々田区長：農協ともタイアップし、きちんとした対価が得られるような仕組みを広げていくべく、PRをしていきたい。また、農作業に関しての補助金の制度についても、施設の少ない運営費の中で捻出するのは苦しいこともあるので、金銭的にも応援をし、取り組んでまいりたい。</p>

【熱中症対策について】

深作議員：ひとり暮らしの方への熱中症対策の呼びかけなど、区での取組をする予定はあるか。

清福祉保健課長：ひとり暮らし高齢者については、民生委員をはじめとして、様々な方々に見守りをおこなっていただいている。その中で、暑さ対策の呼びかけも継続していきたい。

【自治会町内会館脱炭素化推進事業】

深作議員：自治会町内会館脱炭素化推進事業の現状は。

須藤地域振興課長：5月24日現在で脱炭素化の建築士アドバイザーの派遣が1件、現在、補助金申請相談中のもの1件。全市としては、脱炭素化の申請が81件、建築士アドバイザーの派遣が26件。

【地域活動の活性化事業】—読書活動推進事業—

磯部議員：ららぽーと横浜が取次サービスの候補地ということだが、どのように周知していくのか。

大谷読書活動担当課長：現在、運営事業者側と具体的な協議を進め、来年度に向けて開設の準備を進めていると聞いている。開設にあたっては、特に商業施設では広範囲からお客様が入る施設のため、市の広報スケジュールに併せて、広報誌や図書館で広告等を行っていく。

磯部議員：ポポラのサテライト事業もあるが、どのような連携をして相乗効果を図っていくのか。

大谷読書活動担当課長：ポポラ・サテライトについては、既に図書館が子育て向けの出張お話を定期的に実施している。商業施設でファミリー世帯の方がたくさんいらっしゃるので、そういったお客様に向けて図書サービスをポポラと連携して行えると考えている。また、ららぽーと横浜では図書館と連携し、「お出かけ図書館」を行っているので、このあたりのニーズは実感している。

【再配当予算について】—身近なまちづくりについて—

磯部議員：身近なまちづくりについて、大きな予算がかけられているが、課題があれば教えてほしい。

矢口土木副所長：都筑区の公園や緑道については、かなり年数が経過しており、施設の老朽化や樹木が高くなりすぎているなどの課題がある。また、レクリエーションや通勤通学など様々な用途で使われているため、多様なご意見に対し配慮が必要である。

磯部議員：横浜国際プールの再整備において、北山田駅から国際プールまでの導線の整備について、何か考えがあるか。

矢口土木副所長：ほとんどが国際プールの敷地内になるが、市道部分については、周りにある緑道などと整合を取りながら、必要に応じて整備をしてみたい。

【食と暮らしの安全推進事業】

磯部議員：動物愛護フェスタについて、場所はどこか決まっているか。

岸生活衛生課長：現状は候補地を探している最中である。

【安全・安心なまちづくり事業】—センター南の環境—

磯部議員：センター南駅からすきっぷ広場前のバリアフリー対策について、改善できることはあるか。

矢口土木副所長：かなり年月も経ってきているため、路面に段差ができています。根本的ではないものの、その場その場で解消しているところ。

【再配当予算について】—防犯灯など—

市来議員：防犯灯と防犯カメラ整備の実績について伺いたい。

須藤地域振興課長：防犯灯については令和5年度実績では24灯の申請件数で10灯整備。防犯カメラについては3団体6台。

市来議員：防犯カメラや防犯灯をつけてほしいという要望が非常にたくさんあるが、ランニングコストがかかる。例えば、ランニングコストがかからない太陽光を使った防犯灯を県や国に提案することは可能か。

須藤地域振興課長：防犯カメラについては都筑区独自で地域防犯活動助成金で上乗せし、団体ごとにメンテナンスや電気代を含むという形で予算立てをしている。また本日、国に横浜市から要望を提出し、地域が行う防犯対策の費用負担や、財源不足を補完するため、防犯カメラの設置や防犯灯の維持管理にかかる財政支援

を求めた。

【安全・安心なまちづくり事業】—交通安全・防犯—

市来議員：安全安心なまちを目指す上で、警察とのコミュニケーションのあり方について伺いたい。

落合副区長：市民意識調査の結果もあることから、より一層警察と連携を密にし、地域の方の声をどう警察に伝えるか、検討・協議してまいりたい。

【崖対策について】

市来議員：所有者が亡くなった崖地があるが、国や県にもう少し速やかに対処するようお願いすることは可能か。

江口総務課長：崖対策は県が主体となっている。区と建築局で協力して、県への要望を進めてまいりたい。

【民生委員のサロンについて】

白井議員：交通手段問題について、前回質問したときに「検討します」と言っていたがどうなったか。

清福祉保健課長：どういう手法がとれるか引き続き検討したい。

【安全・安心なまちづくり事業】—センター北、南の環境—

白井議員：夜にセンター南のすきっぷ広場とセンター北の噴水広場周辺に最近、また若者が集まっている。この状況を区では警察と連携し、把握しているのか。

落合副区長：していない。

白井議員：センター北の噴水広場にあるスケートボード対策のポールは、景観を損ねている。グリーンエクスポもあることから、花壇等を設置し魅力を出して、スケートボードをしづらい雰囲気を作ればよいと思うが、どうか。

矢口土木副所長：いろいろな手法を検討し、また報告したい。

【横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業】

—ダイバーシティースポーツ—

白井議員：前はゆるスポーツを実施したと思うが、今後の方向性について

て考えを伺いたい。

須藤地域振興課長：昨年度は高い評価をいただいた一方で、実行委員会の振り返りの中で考え方や理念について理解を深める必要があるという意見もあった。そのため、より効果的な事業展開を図るため、実行委員会の皆様とともに活動のあり方を見直していると考えている。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業】—災害時のペット対策事業—

白井議員：災害連絡協議会に獣医師会は入っているか。

岸生活衛生課長：連絡協議会に入っている。

白井議員：ペットスペース設営ボックスはすべての拠点にあるのか。

岸生活衛生課長：拠点にはなく、区の防災倉庫に備蓄している。

白井議員：獣医師会と積極的にコミュニケーションをとって連携を密にしてほしい。またペットスペース設営ボックスを全ての地域防災拠点に設置するような流れを作ってほしい。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業】—ハマッコトイレ—

白井議員：学校のプールの水が溜まっていない場合どうなるのか。

江口総務課長：近くのハマッコトイレを使用していただくことになる。

白井議員：それは防災拠点の運営委員の皆様にも周知し、訓練内容にも含めていただきたい。

【転入者について】

白井議員：ボッシュ本社が移転した影響で転入者が増えてきているのではないか。

佐野戸籍課長：今のところ特に影響はないと思われる。

【こども子育て基本条例の対応】

白井議員：条例が制定されたが、区の対応を伺いたい。

落合副区長：こどもの意見を聞いて政策に反映するため、どのように進めていくか検討を開始したところである。

白井議員：センター北のオアシスポケットを活用できないか検討いただきたい。

	<p>【30周年記念事業】</p> <p>長谷川議員：人材育成という観点から、伝統楽器で自分たちのルーツを学ぶ機会を設けていただいた。今回手をあげていただいた方々から今後どうやって裾野を広げていくかが重要だが、どのように考えているか。</p> <p>佐々田区長：区としても1回限りではなく継続的に行っていく必要があると考えている。</p>
備 考	